平成18年度 事前評価実施地区一覧表

四国森林管理局

																チ:	ェック	リスト	<u> </u>								7
整理	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実	施地区名	総便益	総費用	分析		必須	事項	Į	優先配慮事項				1										
番号	†							結果	1 2 3 4 5 1 2					I													
						В	С	B/C																			
1		香川森林管理事務所			すえみだにやま	621,321	252,358	2.46				-	/	/					_ -	-		-	-	-			
2		四万十森林管理署		西平山	にしひらやま	230,366	150,925	1.53				-	/	/					_ -	-	-	- -	-	-			
3	高 知	四万十森林管理署	復旧治山	大古味山	おおこみやま	197804	104690	1.89				-	/	/					- -	-		-		-			

記載要領

- 1. 治山事業、森林整備事業ごとに別葉とする。
- 2. 事業実施主体は、事業を実施した森林管理署等の名称を記載する。
- 3. 事業名は、治山事業にあっては、「国有林治山事業実施要領」の第3に定める事業区分を記載する。 森林整備事業にあっては、森林環境保全整備事業又は森林居住環境整備事業の別を記載する。
- 4. 事業実施地区名は、運用第2の区分による。事業実施地区名には、ふりがなを付す。
- 5. 総便益及び総費用は、千円未満四捨五人とし千円単位で記載する。
- 6. 分析結果は、小数点以下第3位四捨五入とし小数点以下第2位まで記載する。
- 7. チェックリストの各項目については、評価項目を満たしている場合には「」を、該当しない場合には「-」を記載する。事業により項目を設けていない場合は「/」を記載する。

事 前 評 価 個 表

事業名		特定流域総合治山	事業計画期間	平成18年度~平成22年度				
事業実施域 (都道府)	地区名 県名)	末美谷山 (香川県)	事業実施主体	香川森林管理事務所				
事業の概	要・目的	平成16年の台風等 もに、渓床には不安気 このため、崩壊地等	当地区は、香川県西部に位置し、地形が急峻で脆弱な地質構造となって平成16年の台風等豪雨では、山腹崩壊が発生し崩壊土砂が下流に流出でもに、渓床には不安定土砂が多量に堆積した状態となっている。このため、崩壊地等の復旧整備を民有林、国有林が連携して実施し、2機能の維持向上を図るものである。					
		主な事業内容	渓間工 山腹工 0.5	7基 (内民有林 2基) 0HA				
費用対効!	果分析	総 費 用(C)		252,358千円				
		総 便 益(B) 2	K源かん養便益	7,062千円				
		L	山地保全便益	千円				
		Ħ	環境保全便益	千円				
		វ	災害防止便益	6 1 4 , 2 5 9 千円				
			計	6 2 1 , 3 2 1 千円				
		分析結果(B/C))	2.46				
評価結果		床に堆積し 実施するも ・有効性: 当該事事 が図られ、 る。 ・効率性: 対策工の も効果的が	ンた不安定土砂が 5のである。 美の実施により、 水土保全機能が D計画に当たって	崩壊地の拡大等が懸念されるとともに、渓流出する危険性があることから、当事業を崩壊地の復旧や渓床に堆積する土砂の安定維持向上されることから有効性は認められは、現地発生土石や木材を利用する等、最、工法で検討されており、費用以上の効果性は認められる。				

事 前 評 価 個 表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成18年度~平成22年度					
事業実施地区名 (都道府県名)	西平山 (高知県)	事業実施主体	四万十森林管理署					
事業の概要・目的	(高知県西南豪雨災害 も崩壊土砂の流出や不	当地区は、高知県西部土佐清水市三崎川上流に位置し、平成13 (高知県西南豪雨災害)により山腹崩壊、渓流荒廃が多発した箇所 も崩壊土砂の流出や不安定土砂の堆積が見られる。 このため、崩壊地等の復旧整備を実施し、水土保全機能の維持向 である。						
	主な事業内容	主な事業内容 渓間工 6基 山腹工 0.09 H A						
費用対効果分析	総費用(C)		150,925千円					
	総 便 益(B) 水	源かん養便益	6,867千円					
	Щ	地保全便益	千円					
	環	境保全便益	千円					
	ı,	害防止便益	223,499千円					
		計	230,366千円					
	分析結果(B/C)		1.53					
評価結果	床に堆積し 実施するも ・有効性: 当該事業 が図られ、 る。 ・効率性: 対策工の も効果的が	た不安定土砂がのである。 の実施により、水土保全機能が計画に当たって	崩壊地の拡大等が懸念されるとともに、渓流出する危険性があることから、当事業を崩壊地の復旧や渓床に堆積する土砂の安定維持向上されることから有効性は認められは、現地発生土石や木材を利用する等、最、工法で検討されており、費用以上の効果性は認められる。					

事 前 評 価 個 表

事業名		復旧治山	事業計画期間	平成18年度~平成22年度					
事業実施場 (都道府場		大古味山 (高知県)	事業実施主体	四万十森林管理署					
事業の概要	要・目的	│ 小規模な山腹崩壊、渓 │ 崩壊、渓流荒廃が一気 │ 定土砂が多量に堆積し							
			山)及工 0.07						
費用対効	果分析	総費用(С)		104,690千円					
		総 便 益(B) 水	ぶかん養便益	9,676千円					
		Щ	地保全便益	千円					
		環	境保全便益	千円					
		× ×	害防止便益	188,128千円					
			計	197,804千円					
		分析結果(B/C)		1.89					
評価結果		床に堆積し 実施するも ・有効性: 当該事業 が図られ、 る。 ・効率性: 対策工の も効果的か	た不安定土砂がのである。 の実施により、水土保全機能が 計画に当たってかつ効率的な工種	崩壊地の拡大等が懸念されるとともに、渓流出する危険性があることから、当事業を崩壊地の復旧や渓床に堆積する土砂の安定維持向上されることから有効性は認められは、現地発生土石や木材を利用する等、最、工法で検討されており、費用以上の効果性は認められる。					

整理番号 1

治山事業費用対効果集計表

事業名:特定流域総合治山 都道府県名:香川

施行箇所: 末美谷山 (単位:千円)

施行箇所:未美台口	<u> </u>						(単位:千円)
大 区 分	中区分		評価額 B (千円)			備	考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	95				
		a-2	3,359				
	流域貯水便益	b-1	75				
		b-2	2,646				
	水質浄化便益	c-1	96				
		c-2	3,405				
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	3,260	3,260	+	115,160	+ 3 =
		d-2	115,160			118,423	< 188,128
	土砂崩壊防止便益	е	3				適用しない
環境保全便益	炭素固定便益	f	0				
	酸素供給便益	g	0				
	気候緩和便益	h	0				
	騒音軽減便益	i	0				
	飛砂軽減便益	j	0				
	風害軽減便益	k	0				
	大気浄化便益	I					
	霧害軽減便益	m	0				
	火災防備便益	n	0				
	漁場保全便益	0					
	生物多様性の保全便益	р					
	保健休養便益	q	0				
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	188,128	適用			
	なだれ災害防止便	r-2	0				
	潮害軽減便益	r-3	0				
	海岸侵食防止便益	r-4	0				
便益合計 (197,804					
事 業 費 (C) (様式2にて算出)			104,690	千円			
B÷C 費用対効果分析			197,804 104,690	- =	1.89		

整理番号 2

治山事業費用対効果集計表

事業名:復旧治山 都道府県名: 高知

施行箇所: 西平山 (単位:千円)

施行箇所:四半山			1				(単位:千円)
大 区 分	中区分		評価額 B (千円)			備	考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	95				
		a-2	3,359				
	流域貯水便益	b-1	75				
		b-2	2,646				
	水質浄化便益	c-1	96				
		c-2	3,405				
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	3,260	3,260	+	115,160	+ 3 =
		d-2	115,160			118,423	< 188,128
	土砂崩壊防止便益	е	3				適用しない
環境保全便益	炭素固定便益	f	0				
	酸素供給便益	g	0				
	気候緩和便益	h	0				
	騒音軽減便益	i	0				
	飛砂軽減便益	j	0				
	風害軽減便益	k	0				
	大気浄化便益	ı					
	霧害軽減便益	m	0				
	火災防備便益	n	0				
	漁場保全便益	0					
	生物多様性の保全便益	р					
	保健休養便益	q	0				
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	188,128	適用			
	なだれ災害防止便	r-2	0				
	潮害軽減便益	r-3	0				
	海岸侵食防止便益	r-4	0				
便益合計 (B)		197,804				
事 業 費 (C) (様		104,690	千円				
費用対効果分析	B ÷ C	=	197,804 104,690	- =	1.89		

整理番号 3

治山事業費用対効果集計表

事業名:復旧治山 都道府県名: 高知 施行箇所:大古味山

(単位:千円)

施行固所:人口 怀日	-		•				(里位:十円)
大 区 分	中区分		評価額 B (千円)			備	考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	95				
		a-2	3,359				
	流域貯水便益	b-1	75				
		b-2	2,646				
	水質浄化便益	c-1	96				
		c-2	3,405				
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	3,260	3,260	+	115,160	+ 3 =
		d-2	115,160			118,423	< 188,128
	土砂崩壊防止便益	е	3				適用しない
環境保全便益	炭素固定便益	f	0				
	酸素供給便益	g	0				
	気候緩和便益	h	0				
	騒音軽減便益	i	0				
	飛砂軽減便益	j	0				
	風害軽減便益	k	0				
	大気浄化便益	ı					
	霧害軽減便益	m	0				
	火災防備便益	n	0				
	漁場保全便益	0					
	生物多様性の保全便益	р					
	保健休養便益	q	0				
災害防止便益	山地災害防止便益	r-1	188,128	適用			
	なだれ災害防止便	r-2	0				
	潮害軽減便益	r-3	0				
	海岸侵食防止便益	r-4	0				
便 益 合 計 (B)			197,804				
事 業 費 (C) (様	式2にて算出)		104,690	千円			
費用対効果分析	B ÷ C	=	197,804	- =	1.89		